



長照寺だより

わげんあいご 和顔愛語

浄土真宗本願寺派(西本願寺) 摂取山 長照寺 静岡県三島市徳倉1195-817 電話055-988-4242
URL <http://cyoshoji.or.jp> E-mail: info@cyoshoji.or.jp



門信徒会親睦研修

(築地本願寺 親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要参拝)

2024(令和6)年4月26日



おめでとうございます

令和6年(2024)春の叙勲におきまして、
長照寺門信徒「増島ますじま工匠たくみさん」が
長年の消防功労が顕彰され「瑞宝単光章」
を受賞されました。
ここに門信徒の皆様にご報告させていただきます。



「仏法に深く帰依した人に親しみ近づいて損になることは一つもない。その人に親しんでいる自分に多くの徳が得られるのである。」

(蓮如聖人御一代記聞書)

やっぱり生花かな

住職 本持愚山



「諸行無常」「諸法無我」「涅槃寂靜」「一切皆苦」この四法印はお釈迦様がお示し下さいました世の中の事柄を表わす真実の姿として伝えられています。弘法大師空海様はこの教えを五十音の中から導いています。「色は匂へど散りぬるを 我世誰ぞ 常ならむ 有為の奥山 今日越へて 浅き夢みじ 酔ひもせず」です。口語文にしてみました。「今咲き誇り馨しい匂いを放っている花も、時が来れば散ってしまいます。私達の世の中で誰がいつまでも変わらぬ姿でいられますか。私の人生、山あり谷ありを越えてきました。今思えば夢の如き時間の中で酔っている暇などないでしょう。」と説く事ができます。

如何ですか？ようするに生花は無言のうちに人生の有様を教えているのです。ところが仏事の植物は「櫛」を手向ける事が常識であるが如く伝えられ、お仏壇や、お墓には決まって掲げられている。非常識も甚しいと言わざるを得ません。ではなぜ「櫛」を手向けるようになったのでしょうか。

それは土葬時代から始まります。当時の古老の智恵とおきましよう。昔はご遺体を山間部へ埋葬致しました。「六尺さん」と言う役務を担われた村人達が山へ運び一メートル八十センチ掘って埋葬しなければなりません。ところが深すぎて浅いままで埋めたのです。そして土盛りをしたところを下し、数日経ったところでお参りに行きますと何と埋葬された柩が破られご遺体が食べられているのです。回りには獣達の足跡が残っています。そこで考えられたのが獣達も遠ざける植物「櫛」なのです。この植物は猛毒を持っていて、山間部に住む小動物が最も嫌うものとして、土盛りの後に敷き詰めました。この方法が功を奏し見張りを置かなくても良い事となったのです。これがしきたり伝承となり、墓参や、仏壇には「櫛」となっていたのです。しかしこの伝承にはお釈迦様の教えと程遠い事と知らされるのです。

「櫛」は何も教えてくれません。単なる生活の智恵です。猛毒の植物を仏様や、ご先祖様方々に手向けていいのですか。昔から尊い方がお通りになる道を「花道」と伝えられています。まさしく大切な方々がお浄土からお還りになる道の花びらで飾り、あの世とこの世を歩いて頂きましょう。やっぱり生花がいいのです。

称名念仏

活動報告 令和六年度上期

花まつり「お釈迦様の誕生日」



令和六年四月二十日



門信徒会親睦研修(築地本願寺)

親鸞聖人御誕生八五〇年・
立教開宗八〇〇年慶讃法要参拝)



令和六年四月二十六日

：築地本願寺



※写真は表紙にも掲載

門信徒会定期総会



令和六年五月十八日



第五十五回

門信徒会親睦ゴルフコンペ

令和六年五月二十四日
：ラフォーレ修善寺&カントリークラブ



優勝

矢野 嘉延さん

準優勝

知公 隆生さん

三位

杉山 茂さん



岡東組組会・総代研修会

令和五年五月三十日

：善教寺(三島市)



ご講師 中尾 史峰 師

(築地本願寺 宗務長)

境内清掃作業・親睦懇親会(中止)

令和六年七月二十一日

※酷暑のため、中止いたしました。



恵みのお参り(七五三のお参り)

令和六年八月九日

初参式 鈴木 ひすいさん
七五三 鈴木 みつきさん

※写真は裏表紙に掲載

同盆法要法(全八回)

令和六年八月十三日

～十五日



秋季彼岸会法要

令和六年九月二十二日

ご講師 山崎 慶雅 師

(西光寺住職・本願寺派布教使)



今後の活動予定

令和6年(2024)

11月17日(日)	報恩講	本堂
11月29日(金)	門信徒会親睦ゴルフコンペ	レンブラント ゴルフ倶楽部 御殿場
12月7日(土)	静岡東組 親鸞聖人御誕生 850年・ 立教開宗 800年慶讃法要 門信徒のつどい(静岡東組公開講座)	善教寺(三島市) みしまプラザホテル
12月8日(日)	境内清掃作業	境内
12月31日(火)	年越しの鐘	本堂

令和7年(2025)

1月4日(土)	修正会	本堂
3月20日(木)	春季彼岸会法要	本堂
3月未定	つきじー泊(わんぱく)子ども会	未定
毎月第3土曜日	定例法座 ※彼岸会・報恩講等の法要と兼ねる月もあります。	本堂

※各行事は、予定ですので、その都度、寺から案内を送付します。
 ※定例法座は毎月第3土曜日 午後1時より本堂にて開催。
 ※その他に親睦の集いを募集・計画中。

「日頃の忙しさから解放されて
 気持ちが軽くなる自分を発見
 できるかもしれません。」



初参式 鈴木 ひすい さん 七五三 鈴木 みつき さん

編
集
後
記

- ☆お寺からのお便りは、家族皆さん必ず読んで頂く習慣をつけましょう。
- ☆お寺は「よろず相談処」です。日頃悩んでいる事がありましたら、何でもご相談ください。
- ☆次回寺報は、2025年4月発行予定です。

ご意見・ご要望は、寺務所まで

〒411-0044 三島市徳倉1195-817 TEL・FAX 055-988-3900
 編集人= 菊澤・斎藤・園田・杉山・船坂